令和2年3月5日

令和元年度　練馬区立開進第四中学校　学校評価報告書

練馬区立開進第四中学校

校 長　 児 島　 泰 彦

１　自己評価結果

1. 概　要
2. 毎年同じアンケート項目で実施し、３年間の経年変化を比較している。
3. アンケート項目の「そう思う」「ややそう思う」を『プラス評価』とした。
4. アンケート項目の「あまりそう思わない」「そう思わない」を『マイナス評価』とした。
5. プラス評価を、「100～80％をA」「79～60％をB」「59～40％をC」「39～0％をD」の4グループで分類した。
6. 昨年度と比較した各評価の±5％の増減を各評価の『上昇』・『下降』とした。
7. 昨年度と比較し、評価の高い項目は今後も指導を継続し、評価の低い項目を中心に来年度に向け教育内容を見直し改善していく。
8. 昨年度との全体比較

下記の表は、昨年度と一昨年度の結果と比較し全体的な傾向と特徴をまとめたものである。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 元年度 | 30年度 | 29年度 |
| プラス評価が100～80％のA評価だった項目数 | 　１７ | １７ | １７ |
| プラス評価が 79～60％のB評価だった項目数 | 　　１ | １ | 　　０ |
| プラス評価が 59～40％のC評価だった項目数 | 　　０ | ０ | 　　１ |
| プラス評価が 39～ 0％のD評価だった項目数 | 　　０ | ０ | 　　０ |

今年度87.7％の家庭から回答をいただき、ほとんどの質問項目がプラス評価Aの80％以上であったことはうれしいことである。しかし、自由記述の声を見ると我々の対応や保護者からの要望は引き続き強いものがある。特に家庭学習や補充授業の充実を望む声は高い。

1. プラス評価の資料と分析
2. プラス評価が100～80％のA評価だった項目

|  |  |
| --- | --- |
| 1 | 本校では、落ち着いた雰囲気の中で授業が行われていると思いますか。 |
|  2 | 本校は、生徒の基礎学力を定着させるための取組を適切に実施していると思いますか。 |
|  4 | 本校の生徒は、よくあいさつができると思いますか。 |
|  5 | 本校の生徒は、ルールを守り、規律ある生活を送っていると思いますか。 |
|  6 | お子様は、友人と仲良く、楽しく充実した学校生活を送っていると思いますか。 |
|  7 | お子様は、相手の立場に立って考えたり行動したりすることができるようになったと思いますか。 |
|  8 | 本校は、生徒に校内の美化・環境整備に適切に取り組ませていると思いますか。 |
|  9 | 本校は、生徒に安全・防災（避難訓練など）に適切に取り組ませていると思いますか。 |
| 10 | 教員は、お子様の話を良く聞き、困った時には相談にのっていると思いますか。 |
| 11 | 教員は、お子様が悪い事をした時にはきちんと叱って指導していると思いますか。 |
| 12 | 本校は、学校だよりや学年・学級だより、ホームページ等で学校の様子を積極的に知らせていると思いますか。 |
| 13 | 本校は、地域の小学校と連携した教育活動に適切に取り組んでいると思いますか。 |
| 14 | 本校の部活動は、充実していると思いますか。 |
| 15 | お子様の各教科の評価・評定は適切に行われていると思いますか。 |
| 16 | 本校は、生徒の将来を見通した進路について適切に指導していると思いますか。 |
| 17 | 本校は、運動会や文化発表会などの学校行事が充実していると思いますか。 |
| 18 | 本校の保護者や地域社会の人たちは、学校に協力的であると思いますか。 |

1. プラス評価が昨年度と比較して5％以上上がった項目【プラス評価の上昇】

［ な し ］

　18項目中、17項目でプラス評価Aをいただき、さらにその評価の10項目が90％以上であった。

　　　　特に、「美化・環境整備」「安全・防災への取り組み」「小学校との連携した教育」については、95％以上を超える理解が得られている。

　(4) マイナス評価の資料と分析

1. プラス評価が79～60％のB評価だった項目

|  |  |
| --- | --- |
| 3 | お子様の家庭学習の時間は、年度当初より増えたと思いますか。 |

1. プラス評価が59～40％のC評価、39～0％のD評価だった項目

［ な し ］

1. プラス評価が昨年度と比較して5％以上下がった項目【プラス評価の下降】

|  |  |
| --- | --- |
| 1 | 本校では、落ち着いた雰囲気の中で授業が行われていると思いますか。 |
|  2 | 本校は、生徒の基礎学力を定着させるための取組を適切に実施していると思いますか。 |
| 10 | 教員は、お子様の話を良く聞き、困った時には相談にのっていると思いますか。 |

　　　　生徒の家庭学習の習慣付けについて、学校でやり方・方法については教えることができるが、実際にやるかは生徒本人次第で、やらせるのも各家庭で行わなければならず、むしろ家庭で保護者がついて対応すべき問題なのではないかと思われる。生徒と保護者の意識改革が必要だと思われる。今後、学習に対する教育相談の充実を図る。

２　学校関係者評価

1. 成果
2. 保護者アンケートの回答において、ほとんどの質問項目がプラス評価Aの80％以上であり、日頃の教育活動が概ね理解されているものと考え評価できる。引き続き、充実した教育活動を期待する。
3. 安全・防災についての評価が高いことは、地域としてもうれしいことである。町会の防犯カメラの設置など、学校だけでなく地域としても防犯・安全に対する意識が高まってきている。
4. 課題
5. 自由記述の声を見ると直接教員と会話することで、解決・理解する内容が多い。もっと保護者が、学校公開日や保護者会等に積極的に参加することを期待したい。
6. 家庭学習の習慣付けについては、引き続き学校からも生徒や家庭へのアプローチを続け家庭学習を促すよう指導をお願いしたい。
7. 自由記述の声にもあるように、SNSの問題について大人には理解が難しい。若い世代の先生方にも協力してもらって、生徒に上手な使い方を指導してほしい。
8. 改善策
9. 家庭学習については、学活などで生徒にも指導し、定期的に課題・宿題などを出して習慣付けできるように生徒に促すが、家庭ごとに保護者からのアプローチなど家庭の取組が一番大切なので、保護者会などで各家庭へも呼びかけを行う。
10. SNSの問題については、社会でも重要視していることなので、現在の2年生への指導だけでなく、全学年への指導へと広げていく。

３　評価結果の公表等

1. 3月中に評価結果を保護者に配布
2. 3月中に学校ホームページに掲載

４　次年度の学校改善に向けた校長の見解

　今年度は保護者アンケートの回答数が昨年度の７７.２％から８７.７％と大幅に増え、学校の取組への関心の高さが感じられた。しかし、それと同時に肯定的意見の割合が下がってしまう傾向があり、特に1年生の保護者の皆様からは厳しい見方をいただいたので、来年度に向けて改善を図っていきたい。特に力を入れて取り組んでほしいとの要望には、「わかりやすい授業をすること」「進路指導に力を入れること」「基礎学力向上のための補充指導の充実」の３点が挙げられた。

本校では、特別教室にはすでにＩＣＴ機器が設置されていて授業で活用されていたが、今年度は各教室へも設置されたことを受け、毎回の授業に活用する機会が大幅に増えた。しかし、すべての教科で活用されているとは言えないので、来年度は使用頻度を増やし、生徒にとってわかりやすい授業をさらに進めていく。進路指導については、３年間を見通した計画を立て、段階を追いながら学んでいけるようさらに体制を整えていきたい。補充指導については、現在も外部指導者を招いて定期的に実施している。また、各教科の担当も定期考査前や単元の終了時等に行っている。ただ、受講できる生徒数は限られているのが現状である。来年度も生徒の実情に沿う形で支援体制を整えていく。

この１年、保護者や地域の皆様からの力添えをいただきながら、学校教育を推し進めることができた。来年度においても、生徒自身が学校で、何のために学ぶのか、何のために行事や部活動に取り組むのか、それぞれの生徒が目的をもって生活し、「毎日の登校を楽しみにできる学校」となるよう、教職員で総力を挙げて取り組んでいく所存である。